

日本医療政策機構 循環器病対策 推進プロジェクト

公開シンポジウム

患者・当事者ニーズに基づく循環器病対策の推進に向けて

本シンポジウムでは、患者・当事者の視点を通して、現行の基本計画および都道府県計画を含めた循環器病対策に求められるポイントを考察する。



日時

2024年11月22日 (金)15:00-17:00

方法

対面開催・オンライン配信

(会場は先着50名)

会場

大手町フィナンシャルシティ
グランキューブ 3階
東京都千代田区大手町 1-9-2

言語

日本語

登壇者

患者・当事者、政策立案者、
省庁関係者、学会関係者、
企業関係者、マスメディア

参加費

無料

詳細は裏面へ！

詳細・お申込み↓



主催：日本医療政策機構 (HGPI)

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-2

大手町フィナンシャルシティ グランキューブ 3階

Global Business Hub Tokyo

Tel: 03-4243-7156 Fax: 03-4243-7378 E-mail : info@hgpi.org

後援：一般社団法人 日本循環器協会

日本医療政策機構について

日本医療政策機構（HGPI: Health and Global Policy Institute）は、2004年に設立された非営利、独立、超党派の民間の医療政策シンクタンクです。市民主体の医療政策を実現すべく、中立的なシンクタンクとして、幅広いステークホルダーを結集し、社会に政策の選択肢を提供してまいります。特定の政党、団体の立場にとらわれず、独立性を堅持し、フェアで健やかな社会を実現するために、将来を見据えた幅広い観点から、新しいアイデアや価値観を提供します。日本国内はもとより、世界に向けても有効な医療政策の選択肢を提示し、地球規模の健康・医療課題を解決すべく、これからも皆様とともに活動してまいります。当機構の活動は国際的にも評価されており、米国ペンシルベニア大学のローダー・インスティテュート発表の「世界のシンクタンクランキング報告書」における「国内医療政策」部門で世界2位、「国際保健政策」部門で世界3位に選出されています（2021年1月時点（最新データ））。

日本医療政策機構（HGPI）循環器対策推進プロジェクト 公開シンポジウム「患者・当事者ニーズに基づく循環器病対策の推進に向けて ～第2期循環器病対策推進計画をより実行性のあるものにしていくために～」

プログラム（順不同・敬称略）

15:00-15:05 開会の辞

自見 はなこ（参議院議員／脳卒中・循環器病対策フォローアップ議員連盟 事務局長）

15:05-15:10 趣旨説明

乗竹 亮治（日本医療政策機構 代表理事・事務局長）

15:10-15:30 基調講演1

「我が国における循環器病対策の歩みと患者当事者に期待する役割」

鶴田 真也（厚生労働省 健康生活衛生局 がん・疾病対策課長）

15:30-15:50 基調講演2

「産官学民で一体となった循環器病対策の推進に向けて」

小室 一成（国際医療福祉大学副学長／日本循環器協会代表理事）

16:00-17:00 全体パネルディスカッション

「市民主体の循環器病政策実現に向けた打ち手」

パネリスト：

桐山 皓行（東京大学 医学部附属病院 内科診療部門循環器内科 助教／

日本循環器協会 「患者さんのニーズ見える化プロジェクト」 企画立案者）

桜井 なおみ（キャンサー・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長）

古結 敦士（大阪大学大学院 医学系研究科 医の倫理と公共政策学分野 助教）

村上 紀子（特定非営利活動法人 肺高血圧症患者と家族の会 理事長）

安田 聡（循環器病学会 基本法・5カ年計画検討委員会 委員長／

東北大学 医学系研究科 循環器内科学分野 教授）

モデレーター：

塚本 正太郎（日本医療政策機構 シニアアソシエイト）